



2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ベリテ

コード番号 9904 URL <https://www.verite.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO

(氏名) ジャベリ・アルパン・キルティクマール

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO兼管理本部長

(氏名) 米畑 博文

TEL 045-415-8821

定時株主総会開催予定日 2019年6月27日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月27日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	8,373	△0.9	589	5.2	567	△3.3	538	△8.6
2018年3月期	8,449	△1.0	560	90.9	587	111.5	589	126.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	19.80	—	9.8	6.7	7.0
2018年3月期	21.67	—	10.4	6.8	6.6

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 一百万円 2018年3月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	8,288	5,346	64.5	196.51
2018年3月期	8,595	5,684	66.1	208.96

(参考) 自己資本 2019年3月期 5,346百万円 2018年3月期 5,684百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	580	△88	△871	2,418
2018年3月期	954	△67	△472	2,797

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配 当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	18.50	0.00	0.00	0.00	18.50	503	85.4	8.9
2019年3月期	16.00	0.00	16.00	0.00	32.00	870	161.6	15.8
2020年3月期(予想)	9.97	0.00	9.97	0.00	19.94		91.1	

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,789	△2.9	221	△21.1	211	△22.4	189	△24.1	6.97
通期	8,159	△2.6	620	5.3	596	5.1	596	10.7	21.91

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	27,230,825 株	2018年3月期	27,230,825 株
② 期末自己株式数	2019年3月期	26,092 株	2018年3月期	25,972 株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	27,204,753 株	2018年3月期	27,205,509 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付書類P2「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの状況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(追加情報)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(持分法損益等)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善が続き、全体として緩やかな回復基調で推移しましたが、一方で米中の通商問題の動向、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等により、日本経済の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境下において、当社としましては、コーポレート・ビジョンである「Diversity with Brilliance」を引き続き忠実に推進し、ジュエリーチェーンのパイオニアとしての豊富な実績を基に、お客様にご満足いただける質の高い接客技術の向上、顧客ニーズにあった魅力的な商品開発力の強化、粗利率の改善などへの積極的な取組みにより、いかなる環境の変化にも対応できる強固な事業基盤の構築に努めております。

以上の結果、当事業年度の売上高は8,373百万円(前年同期比0.9%減)、営業利益は589百万円(前年同期比5.2%増)、経常利益567百万円(前年同期比3.3%減)、当期純利益538百万円(前年同期比8.6%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における総資産は、8,288百万円となり、前事業年度末と比べ307百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少によるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債合計は、2,942百万円となり、前事業年度末と比べ31百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等の増加によるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は、5,346百万円となり、前事業年度末と比べ338百万円減少いたしました。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

この結果、自己資本比率は64.5%(前事業年度末は66.1%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの状況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末と比べ378百万円減少し、2,418百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動による資金の増加は580百万円(前期は954百万円の増加)となりました。これは主に、売上債権の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動による資金の減少は88百万円(前期は67百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出82百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動による資金の減少は871百万円(前期は472百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払いによる支出865百万円があったことによるものであります。

なお、当社のキャッシュ・フロー指標は、次のとおりであります。

	2019年3月期	2018年3月期	2017年3月期	2016年3月期
自己資本比率	64.5%	66.1%	68.3%	65.9%
時価ベースの自己資本比率	130.6%	100.0%	43.1%	32.7%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	1.9	1.2	1.0	1.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ	23.5	34.5	24.2	14.1

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済普通株式総数（自己株式控除後）により算出しております。

※キャッシュ・フローはキャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済の見通しにつきましては、緩やかな回復基調を維持するものと期待されますが、10月に予定されている消費税率の引き上げによる懸念、米国の経済政策運営、中国経済の減速等わが国の経済に影響を及ぼす要因もあり、引き続き楽観できない状況にあります。

当社としましては、コーポレート・ビジョンである「Diversity with Brilliance」を忠実に推進し、ジュエリーチェーンのパイオニアとしての豊富な実績を基に、お客様にご満足いただける質の高い接客技術の向上、商品開発力の強化、粗利率の改善などの各種取組みにより、環境の変化に対応できる強固な事業体の構築を目指してまいります。

次期店舗数は、ペリテ 68店舗（1店舗減）、マハラジャ・ダイヤモンド 3店舗（1店舗減）、MiMiKaZaRi 1店舗、Velicia 15店舗を予定しております。

以上を踏まえ、翌事業年度（2020年3月期）の業績見通しにつきましては、売上高8,159百万円（前年同期比2.6%減）、売上高総利益率58.5%（前年同期比0.6ポイント改善）、販売管理費比率50.9%を予定し、営業利益620百万円（前年同期比5.3%増）、経常利益596百万円（前年同期比5.1%増）、当期純利益596百万円（前年同期比10.7%増）を予想しております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、安定的な配当の維持並びに将来の事業展開に備えた内部留保の充実、財務体質の強化等の必要性を考慮しつつ、第1四半期末日、及び第3四半期末日を基準日とする年2回の配当を基本として実施しております。

かかる方針のもと、当期は1株当たり32円の配当を行いました。

次期における1株当たりの年間配当金は19.94円を予定しています。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,808	2,429
受取手形	401	462
売掛金	493	552
商品	3,107	2,970
貯蔵品	24	110
前払費用	25	26
未収入金	17	36
未収還付法人税等	43	—
預け金	364	338
その他	—	0
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	7,286	6,926
固定資産		
有形固定資産		
建物	386	421
減価償却累計額	△234	△236
建物(純額)	152	184
工具、器具及び備品	437	449
減価償却累計額	△318	△318
工具、器具及び備品(純額)	119	131
土地	97	97
リース資産	24	24
減価償却累計額	△17	△22
リース資産(純額)	7	2
有形固定資産合計	376	416
無形固定資産		
商標権	0	0
ソフトウェア	10	10
無形固定資産合計	10	10
投資その他の資産		
投資有価証券	33	25
出資金	0	0
破産更生債権等	835	835
長期前払費用	15	14
敷金・差入保証金	605	590
繰延税金資産	261	296
その他	5	5
貸倒引当金	△835	△835
投資その他の資産合計	921	934
固定資産合計	1,309	1,361
資産合計	8,595	8,288

(単位:百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	587	594
買掛金	543	492
短期借入金	1,100	1,100
リース債務	6	2
未払金	362	351
未払費用	119	150
未払配当金	2	7
未払法人税等	17	55
前受金	28	40
預り金	8	8
返品調整引当金	5	3
ポイント引当金	34	35
その他	44	57
流動負債合計	2,861	2,899
固定負債		
リース債務	2	—
長期未払金	46	42
固定負債合計	49	42
負債合計	2,910	2,942
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金		
資本準備金	25	25
その他資本剰余金	4,678	4,678
資本剰余金合計	4,703	4,703
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	874	543
利益剰余金合計	874	543
自己株式	△4	△4
株主資本合計	5,674	5,342
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10	3
評価・換算差額等合計	10	3
純資産合計	5,684	5,346
負債純資産合計	8,595	8,288

(2) 損益計算書

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	8,449	8,373
売上原価		
商品期首たな卸高	3,259	3,107
当期商品仕入高	3,497	3,394
合計	6,756	6,502
他勘定振替高	7	6
商品期末たな卸高	3,107	2,970
商品売上原価	3,642	3,525
売上総利益	4,806	4,847
返品調整引当金戻入額	0	1
差引売上総利益	4,806	4,849
販売費及び一般管理費	4,246	4,260
営業利益	560	589
営業外収益		
受取配当金	0	0
貸倒引当金戻入額	34	—
受取補償金	17	—
その他	2	4
営業外収益合計	55	5
営業外費用		
支払利息	9	9
手形売却損	2	3
支払手数料	15	11
その他	1	2
営業外費用合計	28	27
経常利益	587	567
特別損失		
固定資産除却損	0	1
店舗撤退損	—	1
減損損失	1	6
解約精算金	85	—
特別損失合計	87	10
税引前当期純利益	499	557
法人税、住民税及び事業税	41	54
法人税等調整額	△131	△35
法人税等合計	△89	18
当期純利益	589	538

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余 金合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余 金合計		
当期首残高	3,972	993	340	1,334	285	285	△3	5,588
当期変動額								
資本金から剰余金への振替	△3,872		3,872	3,872				-
資本準備金の取崩		△968	968	-				-
剰余金(その他資本剰余金)の配当			△503	△503				△503
当期純利益					589	589		589
自己株式の取得							△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	△3,872	△968	4,337	3,369	589	589	△0	85
当期末残高	100	25	4,678	4,703	874	874	△4	5,674

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計	
当期首残高	10	10	5,598
当期変動額			
資本金から剰余金への振替			-
資本準備金の取崩			-
剰余金(その他資本剰余金)の配当			△503
当期純利益			589
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	0	0	0
当期変動額合計	0	0	85
当期末残高	10	10	5,684

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余 金合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余 金合計		
当期首残高	100	25	4,678	4,703	874	874	△4	5,674
当期変動額								
剰余金の配当					△870	△870		△870
当期純利益					538	538		538
自己株式の取得							△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計					△331	△331	△0	△331
当期末残高	100	25	4,678	4,703	543	543	△4	5,342

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計	
当期首残高	10	10	5,684
当期変動額			
剰余金の配当			△870
当期純利益			538
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△6	△6	△6
当期変動額合計	△6	△6	△338
当期末残高	3	3	5,346

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	499	557
減価償却費	66	78
受取補償金	△17	—
減損損失	1	6
解約精算金	85	—
固定資産除却損	0	1
店舗撤退損	—	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△33	△0
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△0	△1
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	2	0
為替差損益 (△は益)	△0	0
支払手数料	15	11
支払利息	9	9
売上債権の増減額 (△は増加)	31	△120
たな卸資産の増減額 (△は増加)	152	50
仕入債務の増減額 (△は減少)	258	△44
その他	68	54
小計	1,141	605
支払手数料の支払額	△10	△13
利息の支払額	△9	△9
法人税等の支払額	△103	△17
法人税等の還付額	—	20
補償金の受取額	25	—
解約精算金の支払額	△85	—
その他	△2	△3
営業活動によるキャッシュ・フロー	954	580
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△22	△22
定期預金の払戻による収入	22	22
有形固定資産の取得による支出	△101	△82
無形固定資産の取得による支出	△9	△3
敷金・差入保証金の差入による支出	△16	△30
敷金・差入保証金の回収による収入	64	33
その他	△5	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67	△88
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△466	△865
その他	△5	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△472	△871
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	414	△378
現金及び現金同等物の期首残高	2,383	2,797
現金及び現金同等物の期末残高	2,797	2,418

(5) 財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
 該当事項はありません

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は宝飾事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	208.96円	196.51円
1株当たり当期純利益金額	21.67円	19.80円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益金額(百万円)	589	538
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(百万円)	589	538
期中平均株式数(千株)	27,205	27,204

(重要な後発事象)

該当事項はありません。